

JW Marriott Hotel Tokyo

JWマリオット・ホテル東京



2025/10

© Interculture Art Inc.
All Rights Reserved.



OVERVIEW

高輪ゲートウェイ駅直結の新街区「TAKANAWA GATEWAY CITY」にマリOTT・インターナショナルの最上位ブランド「JW マリOTT」が首都圏初進出となる国内2軒目として開業しました。この場所は、かつての名勝・御殿山があり、富士山や東京湾を望む風光明媚な場所・花見の名所として江戸の人々に親しまれていました。かつての「丘」を「建物」に変換し、高層階に点在する空間を散策しながらウェルビーイングに満ちた現代の「丘」を創造しています。

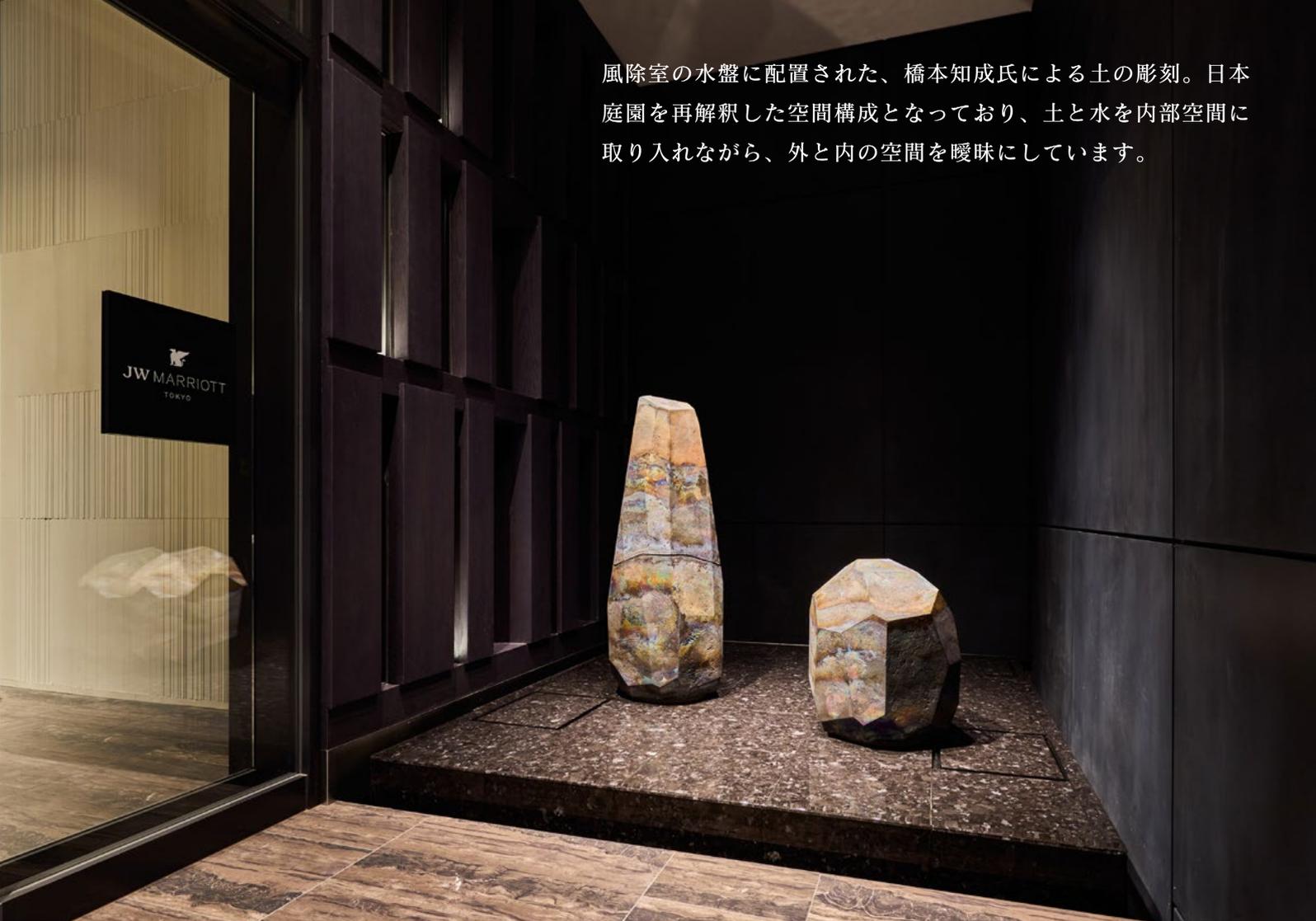




1F Arrival Lobby

アライバルロビーに吊り下げられたウェルカム・アートは、STUDIO SAWADA DESIGN によるインスタレーション。かつてこの地から見えた日本の象徴・富士山をモチーフとした逆富士です。

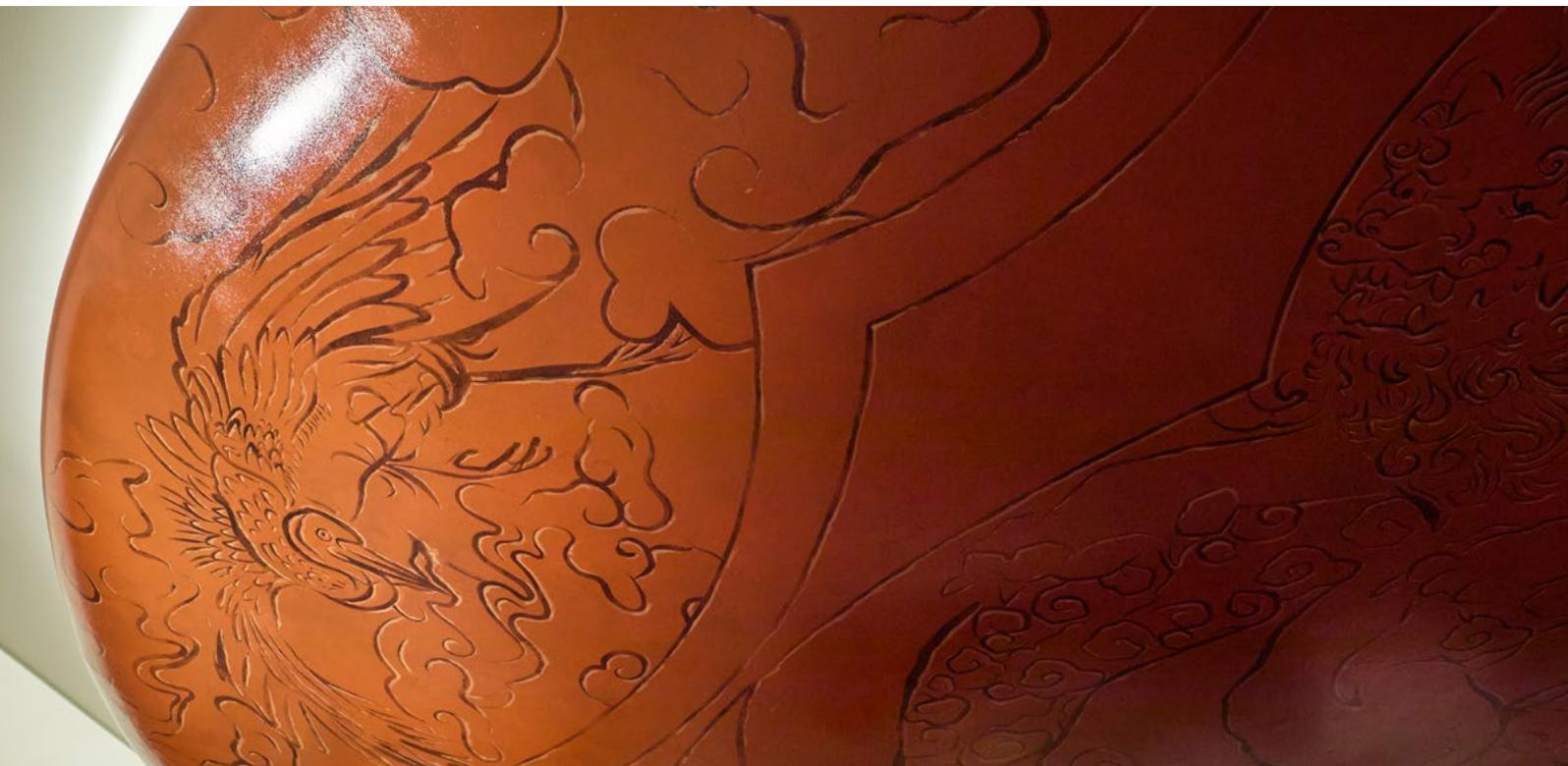
風除室の水盤に配置された、橋本知成氏による土の彫刻。日本庭園を再解釈した空間構成となっており、土と水を内部空間に取り入れながら、外と内の空間を曖昧にしています。

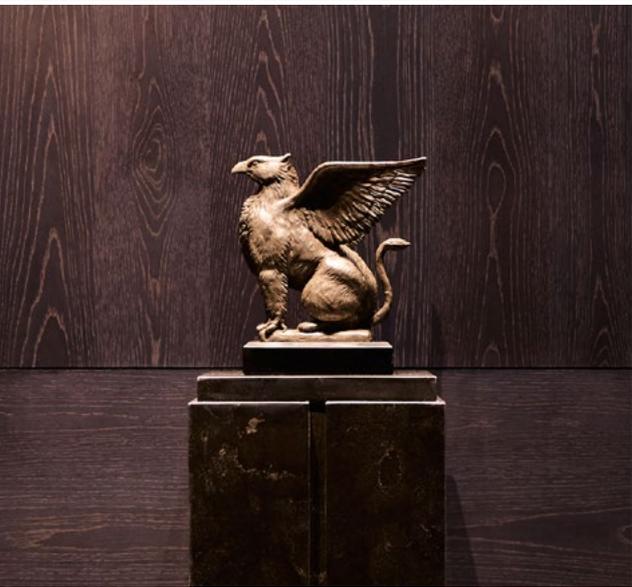




30F Main Lobby & Reception

30F に位置するレセプションデスク。かつての御殿山から見る事ができた東京湾の水平線と、その上空に広がる自然風景を2点1組で再現しました。天井には、鎌倉時代から続く仏教彫刻をモチーフとし、代々継承され時代と共に生きた「線」が今に生きる「禅」を体現しています。







ほの暗いロビーラウンジから光に導かれて
進んだ先には、空中に浮遊するように配置された
ツリーハウスと呼ばれる吹き抜け空間があります。



この空間には、中央のシンボルツリーを囲むように木の葉
に見立てたガラスを配置し、都市の高層階にいながら森の
中にいるような感覚を提供しています。チェコのガラスブ
ランド・LASVIT によるインスタレーションです。





29F Speciality Restaurant

レストランのスペシャリティに合わせ、自然豊かな欧州の田園風景がテーマ。導入部に描かれたテイスティングバーの壁画は詩人ウォルト・ホイットマンの詩「最初のタンポポ」を具現化したビジュアルポエム。厳しい寒さの終わりとともに芽吹くタンポポを題材に、自然の再生と希望が重なるミステリアスな世界を描いています。





レストラン内部には、窓の外に広がる都市風景と対比するような森の風景を描いたアートが並びます。素朴な素材を集めたスタイリングと一緒に、自然の中でピクニックを楽しむようにお食事いただけます。



30F Pop-up Bar

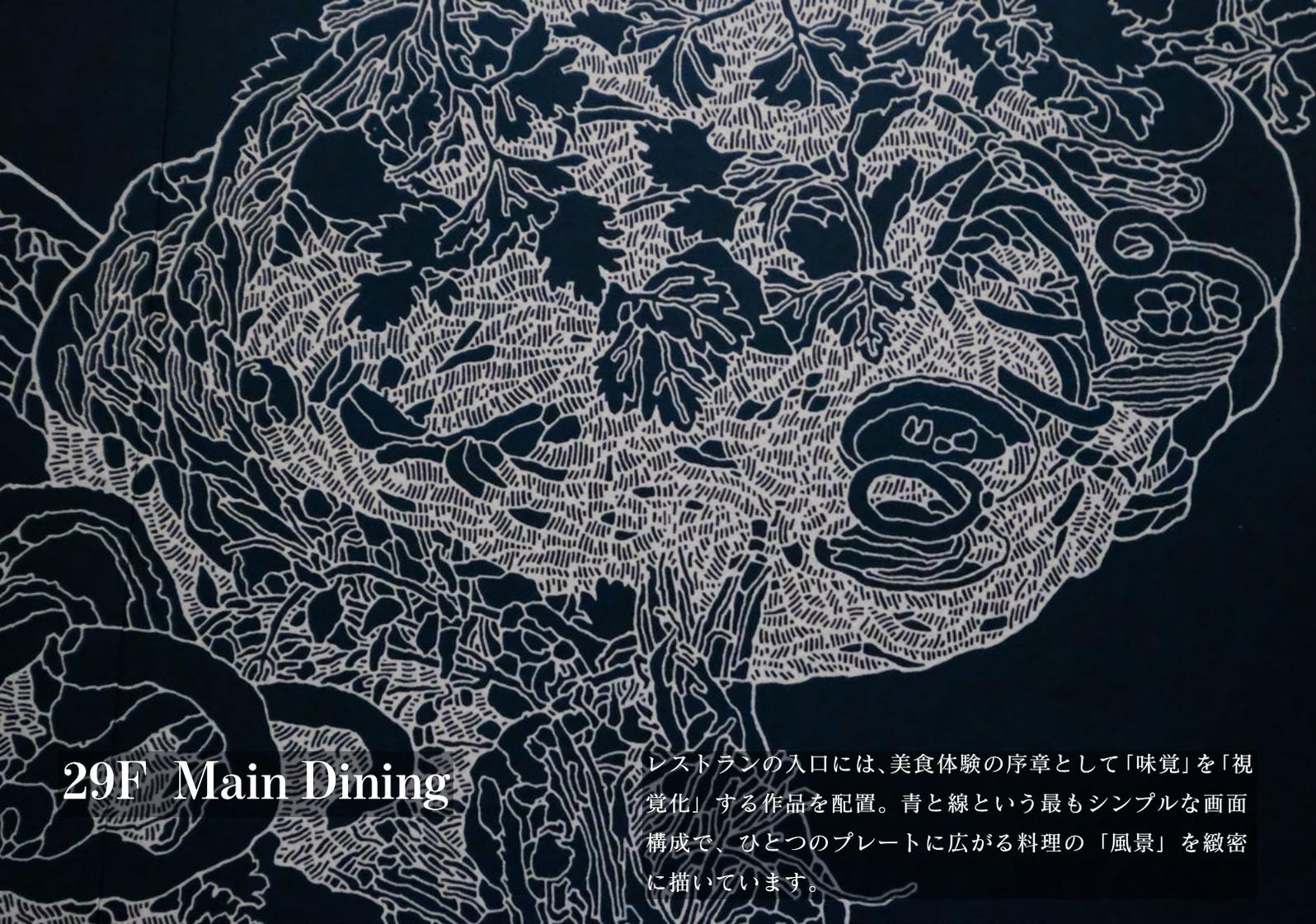
ポップアップバーに描いた壁画は三次元状に展開される絵巻物。日本最古の漫画として知られる国宝・鳥獣戯画をモチーフに、人が寝静まった夜、動物たちが集まり歌い踊る世界を描いています。





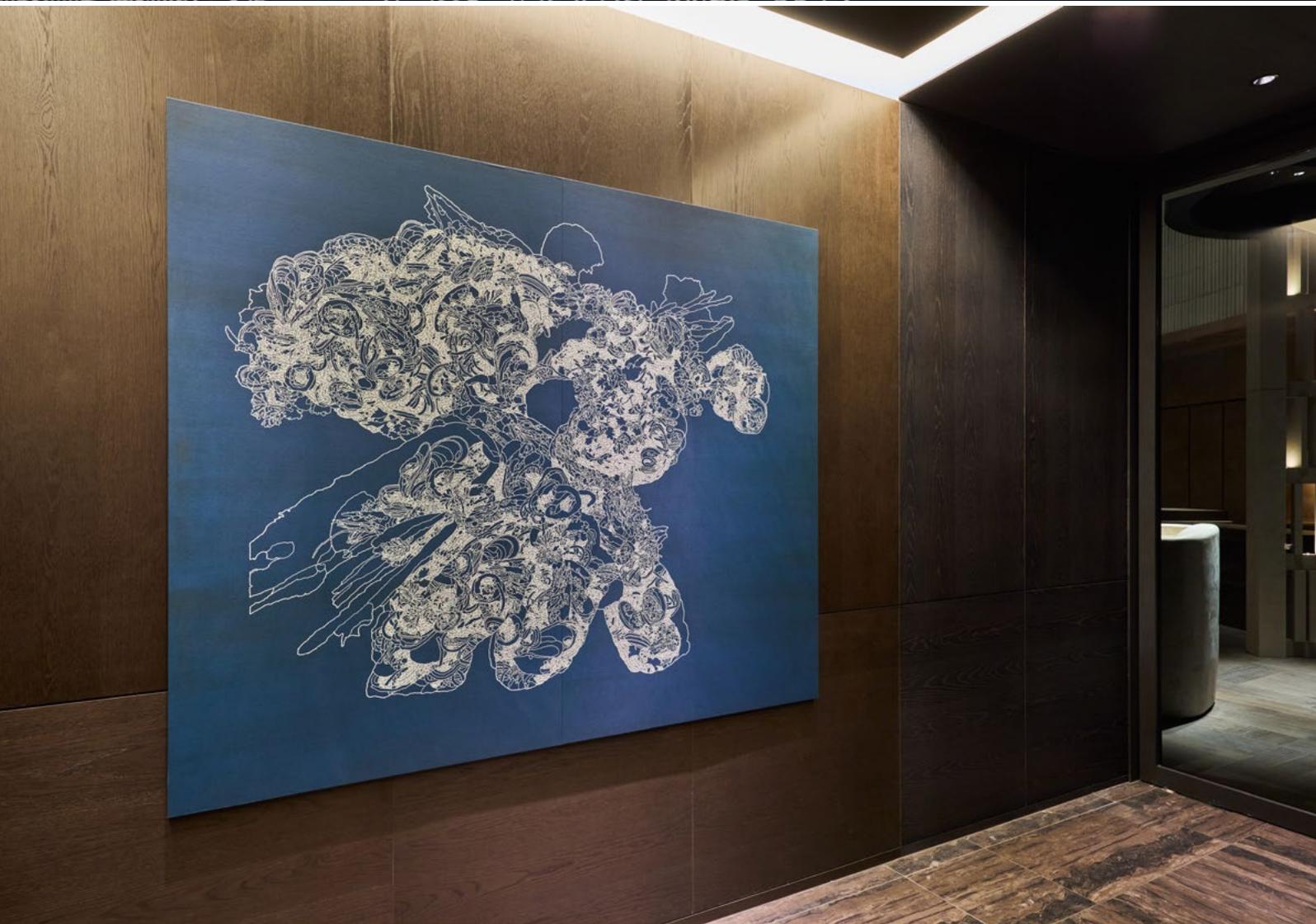
原作には登場しないワインやマドラー、
手土産を片手に路上に酔いつぶれる、
日本のサラリーマン兔を探すのも一興。





29F Main Dining

レストランの入口には、美食体験の序章として「味覚」を「視覚化」する作品を配置。青と線という最もシンプルな画面構成で、ひとつのプレートに広がる料理の「風景」を緻密に描いています。





客席を囲むオープン棚には、日本のわびさびを表現する大型の陶芸作品が圧巻のスケールで並びます。



レストランの個室には海の食材に関係するよう、水の流れをそのまま画面上にとどめた作品を導入し、繊細な水景を室内に呼び込みました。



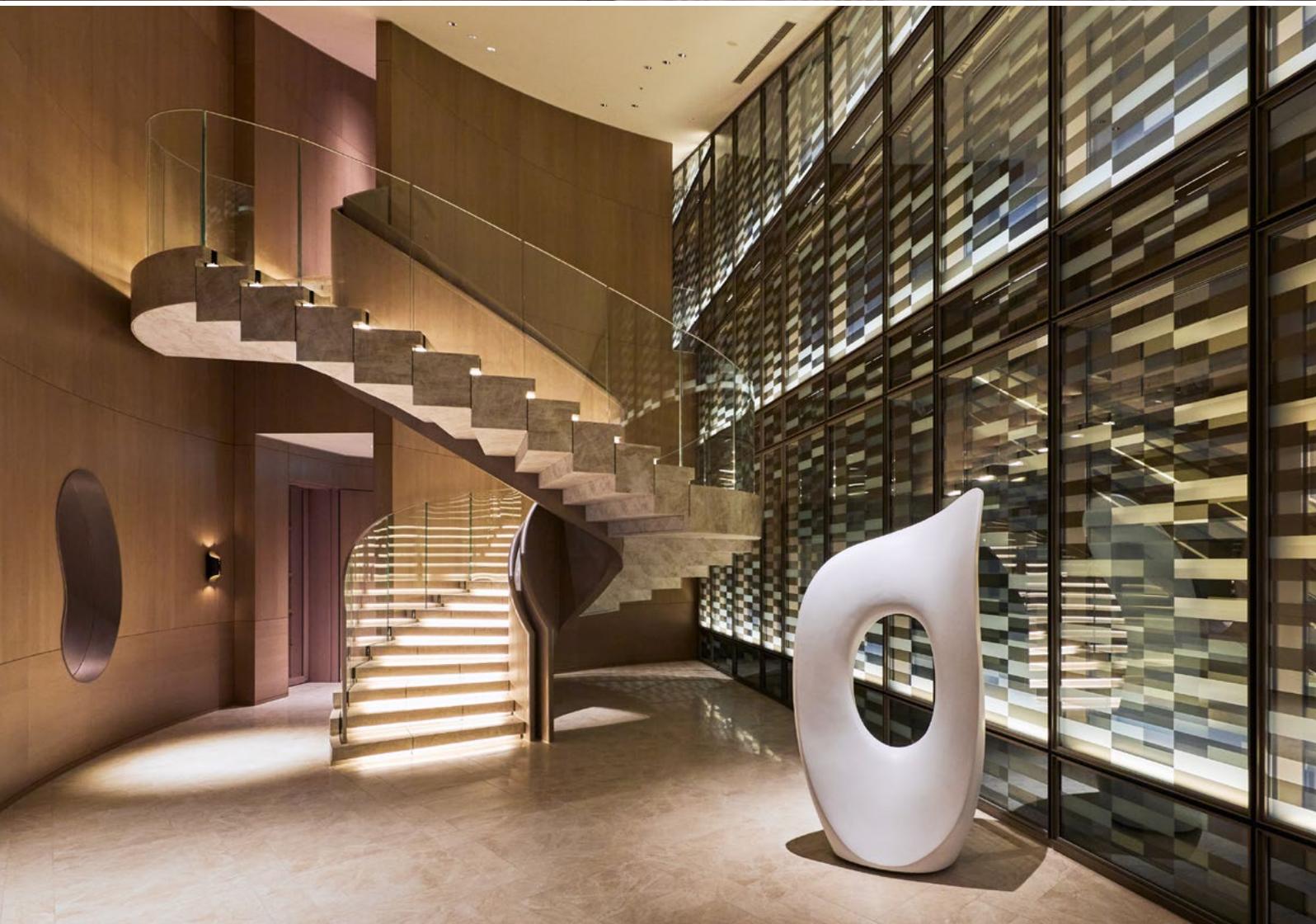
29F Ballroom

29FのバンケットルームにはSTUDIO SAWADA DESIGNによる
花卉を模した「bloom」が浮遊しています。一枚の板から切り出され、
三次元に連なる造形は日本的な構造美学が反映されています。



29F Prefunction & Bridal Suite

バンケットエリアに連なる Mari-Ruth ODA 氏による連作は「bloom」のコンセプトと連動し、自然界のあらゆるものに命や意思が宿るという八百万の美・アニミズム的な生命観を表現しています。



28F Elevator Hall

バンケットルームとスパエリアへ別れる28階エレベーターホールには、日本語の「いぶき」を書にしたための作品を配置しました。筆の横線が動線と呼応し、ゲストを左右に誘います。



28F Ballroom Foyer

現代の御殿山庭園の木々の揺れと光の差し込みを捉えた作品。窓に広がる都市風景と対となる、刻々と変化する自然の美しさを、光の軌跡と反射の重なりを通して具現化した作品。



28F Spa

水をモチーフにガラスオブジェによるスタイリング。プールへの廊下には、枯山水のような水景の表現を土という素材・左官技術を用いて芸術的に再現し、スパからプールへの移行を静謐に演出しています。



27F Executive Lounge

「自然素材である土は、土地や風土の性質を体現する」というアーティストの言葉通り、土という自然材料が持つ多様な質感と表情を活かし、伝統的な左官技術を芸術に高めた作品です。



クロード・モネの「睡蓮」にオマージュを捧げ、現代の御殿山庭園の水景を写したフォトグラフ作品。具体的な要素と抽象的な要素を融合させながら、時間と光の相互作用を表現しています。



Guestrooms: Quiet moments in the journey

ゲストルームは「静寂なる時間の旅」をテーマに、自然素材・質感の多層化・落ち着いた色を用い、ゲストに「再生」「冥想」「思案」する機会を提供するようデザインしました。





プレジデンシャルスイートのウィスキーバーは、森、木々のゆらぎを
残像と微妙な色彩で撮影した作品が配置され、360度囲まれた空間、
森林浴を楽しむような最高級の宿泊体験を演出しています。



物件名
JW マリオット・ホテル東京
JW Marriott Hotel Tokyo

所在地
東京都港区

開業
2025 年 10 月

事業主
東日本旅客鉄道株式会社

インテリア設計
Yabu Pushelberg

ICA ワークスコープ
Consultancy: Artwork Proposal & Planning.
Management & Design Production: Design, Fabrication,
Production Management, Setting & Installation.

© Interculture Art Inc. All Rights Reserved.

About Us

有限会社インターカルチャーアート

Interculture Art Inc. (ICA)

当社は、「アートと空間との調和（Interculturality）は、私たちの生活を豊かにし、創造力と空間のストーリーは、私たちの心の中で生きつづける」という信念のもと、1994年、東京にて設立されました。コンサルティング、アート、デザイン、制作・施工などを専門とするスペシャリスト集団によって構成されています。創業以来の事業展開をとおして、ホテル、レジデンス、医療・福祉施設、商業プロジェクト施設、都市再開発計画などにおいて、多角的かつ総合的なアート・コンサルティングを提供するビジネス・スキームを確立し、多数のプロジェクト実績を重ねてまいりました。

当社では、それぞれのプロジェクトや空間の独自性（ユニークネス）を重視し、お客様のご要望やご予算に合わせ、納期などの諸条件を満たしながら、最適なアート・プログラムをご提案し、創造力と革新性によって、実現させます。

Our Philosophy

“Interculturality between art and culture,

or the fusion of art with space,

creates our bountiful life.

Creativity and the stories we weave within spaces

continue to live in our minds, resonating far into the future.”

本社所在地

162-0041

東京都新宿区早稲田鶴巻町560-2 ICAビル

<https://intercultureart.com>

お問い合わせ

Contact Us / For Domestic and International Inquiries

e: inquiry@intercultureart.com

t: +81(0)3-3207-3911